

学位論文審査及び最終試験（口頭試問）報告書

令和 6 年 2 月 9 日

姫路大学大学院  
看護学研究科長      様

学籍番号 D11910002		氏名 尾 黒 正 子	
論文題目 ストレッチャー移送時の乗車者の頭部の揺れと心理的負荷に関する基礎的研究 — 枕の背側クッション導入の効果 —			
学位論文の要旨      別紙の添付			
学位論文審査結果・最終試験（口頭試問）結果 令和 6 年 1 月 19 日に 3 名の審査委員により口頭試問を実施した。 研究目的はストレッチャー移送時の頭部及び背部の補助具の有無と素材の組み合わせから頭部の揺れ、バイタルの変化、心理的負荷の変動を検証することであるが、論文の骨子は移送時の安全と安心を確保する道具の意義を問うものである。 1 章（はじめに）では十数年にわたり地道に取り組んだストレッチャー研究成果をまとめ、これまでの実験から得た知見を整理し、本研究の課題を丁寧に導き出している。医療現場は日常的にベッドやストレッチャーが臥位で移動するために使用され、ストレッチャーは緊急事態に対応することが多い。本研究は緊急性の裏で見逃されやすい安全性と乗り心地の良さに焦点化し、生体への物理的影響と心理的負担の着目点は実践的な意義と学術的価値を確保している。推測統計学の理解不足により評価項目の分析結果の記述に課題は残るものの、精細に作成したプロトコールに基づいた実験から前庭系の生理機能にも言及した点も看護学への貢献は大きいものと認められる。 本論文の成果は、ストレッチャーでの腹臥位や横臥位、あるいは車椅子の移動、また自然災害時の空中の吊り上げ等の検証にも適用できるものとして、今後、この分野で追試あるいは競争を含む実験が発展する可能性が期待できる。 最終試験では多数の質問が向けられたが回答においては真摯に対応できており、この分野の先駆的研究者として活躍できる資質を示す論文であることは審査員全員の一致した見解である。 以上の審査の内容を踏まえ、論文と口頭試問の内容を総合的に判断した結果、審査委員一同は、尾黒正子氏の学位論文が博士（看護学）の学位授与に十分に値すると合意したことを報告する。			
結果		①.    合格	2. 不合格
主査 柳          修平		副査 幸福   秀和	副査 片山   はるみ